



日本女子大学附属高等学校

THE SENIOR HIGH SCHOOL AFFILIATED with J.W.U.

2021



広い空と緑のもと、クラブや自治活動に打ち込む。
好奇心の導くままに深く学問を究める。
自分らしく伸びやかに成長できる
高校生活がここにはあります。

三綱領に基づく
教育方針

文系・理系に分けない
バランスを
重視した教育

大学附属校
ならではの
充実した高校生活



校長 薄 由美

高校生になるあなたへ

あなたはこれから、「自分は何者か」という根源的な問いかけを幾度となく口にすることでしょう。高校時代に、どんな環境で、誰と出会い、何を学び、どのような体験を重ねていくかは、他者からの押し付けではない己の価値観を築いていく上で、大変重要な意味を持ちます。

本学園は1901年に成瀬仁蔵によって創立され、自治と自由を重んじる校風の下で学んだ多くの卒業生が、様々な方面で活躍してきました。約120年に及ぶ本学園の伝統と叡智は、女性が時代に翻弄されることなく、人として大きく成長することを促してきたのです。広大な森の中にある学び舎で、生徒達は、日々の学校生活を通して、知性と感性を磨いています。本校では、高校時代に学びの裾野を広げ、豊かな教養を身につけてほしいと考え、全ての教科を幅広く勉強することを大切にしています。同時に、選択授業や特別講座「知の泉」など、深く掘り下げて学ぶ機会を提供し、将来へ向けた科学的探究心や知的好奇心を培っています。また、本校の教育の大きな柱である「自治活動」を通して、生徒達は、自らの意見を発信し、互いを尊重する姿勢を体得します。自由であるためには責任が伴うことを認識し、協力して目標を達成する充足感を体験します。

高校生になると、多様な選択肢の中から自分で決断する場面に数多く遭遇することでしょう。時に失敗を経験しながらも、諦めずに自らの人生を切り拓いてほしいと願います。本校での3年間を通して、あなたが自ら考え自ら行動し、賢く強く生きていく力を育むことができるよう、私達は精一杯応援します。



教育綱領「三綱領」



創立者 成瀬仁蔵

「自ら考え、自ら学び、自ら行う」

この「自念自動」の教育方針は、日本女子大学の創立者である成瀬仁蔵が1901年の創立時に唱えたものです。晩年、成瀬は教育綱領として「信念徹底」「自発創生」「共同奉仕」の三つの言葉を残しました。成瀬が生涯をかけて伝え続けた教育の精神は、今も本学の貴重な財産として継承されています。

信念徹底

自己を見つめ、
信念を確立

自発創生

自発的な試みから
独自性が生まれる

共同奉仕

社会との交わりが
人を成長させる

多様な学びの機会が、 学問の楽しさを教えてくれます。

理系文系にわけることなく、すべての教科のバランスを大切に、偏りのない基礎学力を育成します。
また、興味をもった分野の知識をさらに深めるため、選択科目でのより専門的な学びを用意しています。
日々の学習において実験・実習を重視し、書いたり、表現したりする機会を多く設け、
受け身ではない、主体的な学びの場を形成しています。



外国語

聞く・話す・読む・書くの全4技能を用いた活動を通し、英語を使うことの喜びを味わいます。
卒業時には集大成となる英文レポートを作成します。

- 自分の言葉で英語を話す体験
- 英語を豊富に読み・書く機会
- 自分に合ったレベルの課外英語講座受講



理科

すべての生徒が、文系・理系などの枠にとらわれることなく、幅広く科学的な思考力を身につけます。
授業では実験を重視しています。

- 実験を重視 実験室は6教室
- ダクト排気システムを用いた安全な実験授業
- 実験レポートをまとめて内容をすっきり理解



家庭

食物、被服、保育、住居、家庭経営などについて、他教科の内容や日常生活との関連を示しつつ、総合的に理解できるよう努めています。

- 理論→実習→実生活
- 実習の機会を多く設定
- 知識豊かな生活者を目指して



国語

豊かな心と自分の考えを持った、美しい日本語の使い手育成。現代文では文庫本も精読し、古典では『源氏物語』や『史記』まで味読します。

- 文学を通して“私”と出会う
- 生きるために必要な読み力と考える力を鍛える
- 心に届く言葉の発信者をめざして



保健
体育

充実した施設・環境を活用し、3年間を通して総合的な体力を身につけます。保健では、健康に生活するための保健衛生の知識を深めます。

- 自らの心と体と向き合う学び
- 体育を通して豊かな人間性を育む
- バラエティに富んだ種目に取り組む



地歴
公民

知識の習得、資料読解を通じ、思考力と論理力を養成。地理・日本史・世界史・政経・倫理を必修で学び、多角的な視野と主体性を育みます。

- 原資料の分析・読解と歴史的思考力の育成
- 地形図の読図で多角的視点の重要性を学ぶ
- 哲学を通じて、考えを深める楽しさを知る



芸術

声楽、器楽、美術、工芸、書道から選んだ授業を通じ、自ら表現することの喜びを味わい、芸術・文化を理解し鑑賞する豊かな人間性を育てます。

- 積み重ねによる技術の向上
- 様々な芸術作品を学び、知性を育む
- 美しいものに触れ、磨かれる豊かな感性



数学

論理的な思考力の育成に重点をおき、基礎から応用まで問題解決に時間をかけます。3年次では、将来の進路を見据え、高度な内容まで学びます。

- 論理的思考力・数学的表現力の育成
- 多様な選択科目
- いつでも、何でも個別質問可



情報

情報リテラシー、知的財産権、情報社会の問題点、レポート作成のための情報処理と表現、プレゼンテーションの手法など実習を中心に学びます。

- 各教科と連携した特色ある授業を実施
- 学習の成果を学校活動に活かす
- CGIやロボットプログラミングまで

カリキュラム		教育課程(数字は単位数)		
		高1	高2	高3
国語	国語総合	4		
	現代文B		2	2
	古典B		2	2
地歴・公民	世界史B	2	2	
	地理A	2		
	日本史A		2	
	倫理			2
	政治経済			2
数学	数学I	3		
	数学A	2		
	数学II		3	
	数学B		2	2
理科	物理基礎	2		
	化学基礎	2		
	生物基礎	2		
	物理*		2	1
	化学*	2科目選択		1
	生物*		2	1
保健体育	体育	3	2	2
	保健		1	1
芸術	音楽総合	1		
	音楽I*		2	
	美術I*		2	
	工芸I*		2	
	書道I*		2	
外国語	コミュニケーション英語I	3		
	英語表現I	2		
	コミュニケーション英語II		3	
	英語表現II		2	1
	コミュニケーション英語III			3
家庭	家庭総合		2	2
情報	社会と情報	1		1
選択A※	3科目選択			6
選択B※	1科目選択			2
総合的な探求の時間			1	2
ホームルーム		1	1	1

Student interview 2年 I.Y. さん

自ら開く「学びの扉」

本校の学びでは、幅広い興味を育て、「なぜ」を解決していくことができます。世界史では、豊富なエピソードを学ぶことにより、史実の裏にあるドラマを更に掘り下げたいと思いました。興味を持った内容について質問に行くと、先生はほとんど答えてくださいます。また、実験の多い理科では、座学で得た知識を実際に自分の目で見ることで、より理解が深まります。更に、考察の過程をレポートに記すことで、論理的な疑問解決力につながります。自ら「学びの扉」を開いていく機会が多くあると感じています。



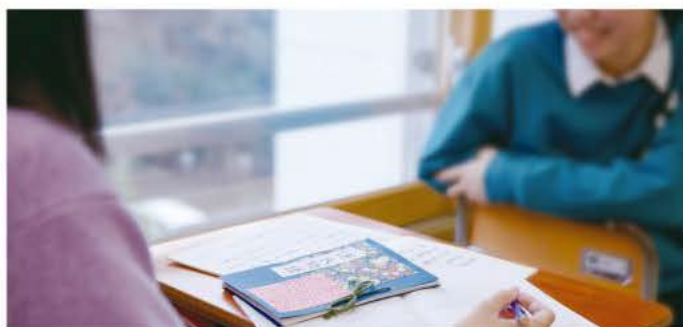
Teacher interview

他者を深く 理解しようとする姿勢が、 柔軟で豊かな思考力を育む

担当教科: 国語 鈴木 倫世



本校の生徒たちはいつも友人の良い所を見つけては、「すごいね!」と声を掛け合っています。他の人の優れた資質にそれとなく気が付いて、はっと心動かされる。こうした他者への温かなまなざしは、豊かな知性を養ううえでも、とても大切だと考えます。担当する古典では時折、現代とは異なる価値観や発想に直面します。それでも、時代背景などをあわせて理解し、まずは作品をそのまま受け入れてみる、ということを授業では心がけています。そのうえで、自分はどうに解釈するのか、自らの考えを明確にしてゆくのです。この姿勢は他の教科でも同様です。「他者」に対して誠実に向き合う生徒たちだからこそ、日々の新たな発見を楽しむことができます。思考力は自分一人の頭の中だけで培われるものではありません。他者から多くを学び、柔軟で豊かな思考力を育ててほしい。そのような思いで授業に臨んでいます。



※ 選択A (3科目選択)

現代文学 古典(中古文・近世文学・漢文) 日本古代・中世史
戦後日本史 アジア史 現代世界史 世界と日本 数学III 微分・積分
物理発展 化学発展 生物発展 ライティング リーディング
フランス語 ドイツ語 中国語 など

※ 選択B (1科目選択)

児童文学 表現法 時事問題 総合数学 英文法
ディスカッション フランス語 ドイツ語 中国語 音楽 器楽 美術
工芸 書道 情報総合 など

Student interview 3年(2019年度) K.R.さん

将来へ、第一歩

選択A「世界と日本」では、様々な民族、その民族間で起こる紛争、深刻な経済状況、環境や歴史について学びました。世界で起きている問題は日本への影響も大きく、私達の生活にも密接な関わりがあると知り、将来、私ができることは何かを考えさせられました。また、選択Bでは、ドイツ語を話したいという気軽な気持ちから「ドイツ語」を選択しましたが、授業を受けていくうちに、この言語を話す人達の国民性や文化などを学びたいと思うようになりました。選択科目で興味のある事柄について学んでいくうちに、自分の将来についての考えを深めることができました。



幅広い知識と教養を身につける 多方面に開かれた学び。

周囲の世界に対して急速に視野が広がる高校時代にこそ、幅広い知識と教養を身につけることが大切です。本校では、大学附属校ならではの環境を生かした、多種多様な学びの扉が常に開かれています。生徒が自ら考え、自ら学ぶことによって、自らの進む道を開いていくことを支援しています。

特別講座 知の泉

授業のない土曜日や長期休暇を有効に活用するために
学校が提供する新しい学びの場です。

参加は自由、費用は無料*、学年も問いません。

自分の世界を広げ、自己実現に向かって行動する人のために、
多数の講座が用意されています。

※テキスト代など、実費がかかる場合があります。



自分の世界を広げる

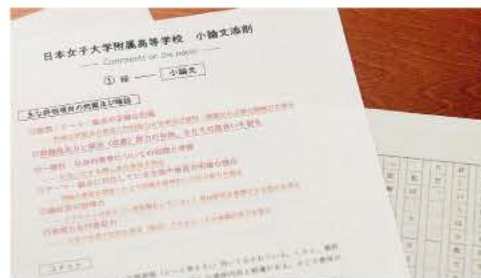
「私たちと法」

検事として活躍する本校卒業生を講師に迎え、社会問題や法律について理解を深める。
受講後小論文を提出し、添削指導を受ける。

「多様な進路を考える」

一般・推薦(日本女子大学含む)・AOなど様々な入試で法学部、医学部、理工学部等に
進学した卒業生を招き、進学に向けての心構えや対策、高校時代の過ごし方などを聞く。

他に「多数決を疑う」、「多文化共生を考える」、「医療とAI」など



興味のある分野の理解を深める

「数学を究める」

フェルマーの小定理や格子点など、受験や高校の課程に縛られない数学の面白さが詰まったトピックについて学ぶ。

「宇宙の魅力を探る」

国立天文台で活躍する研究者を招き、すばる望遠鏡がとらえる原始の銀河や太陽系外の惑星系からわかってきた最新の宇宙像について学ぶ。

他に「書を持って町に出かけよう」、「宇宙開発はなぜわくわくするのか」など

自分の力を伸ばす

「TOEIC対策講座」

学外のTOEIC専門講師による対策講座。TOEICのスコアを伸ばすだけでなく、大学進学後の人生の支えとなる英語力を身につけることを目指す。

「小論文対策講座」

大学の推薦入試やAO入試で志望理由書を書くことを念頭に、自己を客観的に見つめ、将来の展望を文章にする練習を行う。

添削によって小論文の書き方を身につけることを目指す。

他に「TOEFL対策講座」、「数学答案作成力を培う」など

(これまでに開かれた講座の例です。)

受講者 の声

「数学を究める」

問題の様々な解法を考える中で、数学は公式の暗記ではなく、式の意味を理解し発見する科目だと知りました。

「小論文対策講座」

推薦入試の小論文対策にとっても役立ちました。講義の後、実際に小論文を書き、先生に添削していただいたり、アドバイスをいただけたので、何が足りなかったのか知ることができました。志望理由書の書き方のコツも教えていただけたので、推薦入試を考えている皆さんにオススメです。

「民事裁判について」

裁判官という仕事について知ることができたのはもちろん、課題図書も面白かったし、小論文を書く良い機会にもなった。社会への見方が少し変わった。

「TOEIC対策講座」

リスニングに多くの時間を割いてポイントを教えてくださいましたので、最後に受けたIPテストでは思ったよりも良い結果が出せた。

「『災間』を生きるあなたに」

少人数だからこそ、皆で楽しくワークショップなどが出来て良かった。先生の話で初めて知ったことも多くあり、これからは自分から多くの種類のメディアに目を向けていきたいと思った。

「多様な進路を考える」

将来のことがまだ決まっていないう私にとって様々な大学・学部先輩からの話は参考になった。高校生活で何をすべきか、大学生活はどのようなものか、イメージが湧き、こつこつ勉強していきたいと思った。

国際理解教育

平和な社会の実現に貢献できる人材を育むことを主眼として、生徒の主体的な取組みを促進する活動を行っています。本校生徒の語学研修・留学、他国からの留学生受け入れを通じて、国際理解が深まるよう支援しています。



●ニュージーランド語学研修

夏季休暇を利用して、3週間のニュージーランド語学研修を実施しています。自然豊かで静かな環境の中でホームステイすることによって、語学力だけでなく、国際感覚や自立心も養われています。

●生徒企画行事

自治会総務や有志の生徒が、海外文化への理解を深める企画を放課後に設けています。海外から留学している生徒を囲み文化を理解し合う会や、留学経験のある生徒を中心に、海外生活・文化を紹介する会などが行われ、海外に対する興味を深めています。

●単位認定制度

AFS、YFUの2団体による校長推薦を得た年間派遣の留学に限り、留学中の30単位までが包括的に認定される制度で、この制度を利用すれば出発前と同じ回生に復学できます。例年3～8名ほどがこの制度を利用して留学しています。

高大接続プログラム

日本女子大学の附属校である本校の生徒向けに日本女子大学が各種プログラムを提供しています。附属校ならではの機会を利用することで、より深い学び、新しい学びに触れることができます。



●科目等履修生制度

本校生徒が日本女子大学で大学生と共に1年間授業を受け、日本女子大学での単位を先取りすることができます。

2019年度は、現代社会学科「地域活動講座」、心理学科「科学II」の2講座が提供され、参加した生徒が単位を取得しました。

●留学準備プログラム

本校出身で海外の提携校への留学を経験した日本女子大学学生が準備内容や体験を語り、英語資格試験の担当者が試験内容を紹介します。

2018年度：マウント・ホリヨーク・カレッジ/オレゴン大学/サンフランシスコ州立大学(米)

2019年度：ランカスター大学/エジンバラ大学(英)/オレゴン大学(米)

●春期セミナー

本校の春期休暇を利用し、本校生徒が日本女子大学での体験授業に参加します。全15学科から17程度の講座が用意されています。

2019年度：住居学科「新図書館の空間体験とユニバーサルデザイン」、英文学科「『クマのプーさん』を大学で読む」、心理学科「心理実験が解き明かす赤ちゃんの心の発達」など

兼 習

放課後の課外活動として、1950年に創設されました。現在は、茶道・華道・箏曲・横笛・英会話の5講座を設け、週に一度、専門の先生を招いて指導を受けています。希望者のみの参加ですが、「新しい世界と出会いたい」「より高い技能を身につけたい」「心安らぐ時間を得たい」などの理由で、多くの生徒が受講しています。もみじ祭など、練習の成果を発表する機会もあります。



生徒研究誌「樹木と果実」

生徒自身を主役とした勉学と研究の活性化を目指して、生徒研究誌が1994年より毎年発行されています。『樹木と果実』と題され、教員によって推薦された生徒の創作・レポート・論文が掲載されます。授業で扱った教材に関する考察や「知の泉」で提出された小論文、「地域研究」のレポート、小説・詩・写真などの創作も含まれ、多種多様な内容となっています。



自分たちで考え、自分たちで決める。 勉強だけでは得られない“自治の学び”があります。

学校生活を生徒自身の力で動かしていく自治活動・クラブ活動は、学習活動と並ぶ高校生活の柱です。

すべての生徒が自治会の一員として、学校行事の運営から日常の仕事まで、あらゆることを話し合い、取り決め、実行します。

3年間の自治活動の実践を通じて、生徒たちは多くのことを学び、個人としても集団としても大きく成長します。

Student interview 自治委員長 3年 T.H.さん

自治活動を通して己の個性と他の個性を尊重しあう

私達は雄大な自然に囲まれたこの学校で、自覚自動の精神のもと自由な高校生活を送っています。自由で充実した学校生活を作るために私たちが心掛けていること、それは自治活動を通して見出す己の個性と他者の個性を尊重しあうことです。また本校で自治を行う上で「自治と自由の違い」は常に頭に留めておく必要があります。自治とは自らを自らで治めることであり、好き勝手に生活することではありません。この二つを区別するために私たちは生徒が決めた学校内規を設け、最低限のルールと秩序を保っています。そして生徒は自分たちの決めたルールの中で各々が最大限の個性を輝かせ、魅力溢れる女性へと育っていくのです。このように本校は生徒の自治活動によって学校生活を作り上げています。生徒一人一人が自分たちでやりたいことを見つけ実践していくその過程は必ず私達の今後の人生に役立つことでしょう。



研修部



終礼伝達、学級日誌の管理、黒板・掲示物の管理などを担当し、学校生活の充実と学習効率の向上に努めています。

園芸部



教室や花壇の植物の手入れ、畑での野菜作りなどを通して、日々の学校生活に潤いを与えています。

放送部



放送機器を管理し、学校生活や行事における音響、照明、映像、アナウンスに関する作業全般を担当します。

図書部

蔵書の貸出返却や特集展示、清掃などの図書室管理のほか、年1回の講演会を企画・運営しています。

新聞部

学校新聞『いくた』を発行しています。印刷室の清掃も担当し、作業環境の美化に努めています。

文化部

四季折々の行事や歓送迎会などを企画・運営し、全体集会や式典では全校生徒の聞か姿勢を整えます。

生活部

清掃や風紀、教室の換気・戸締り・消灯などを担当し、校内の心地よい環境を維持しています。

体育部

運動会等の企画・運営、保健や体育の授業準備や片付け、毎日の出欠確認等を担当しています。

経済部

募金・ベルマーク・リサイクル活動、貴重品管理・節電の呼びかけ、会計事務などに携わっています。

全ての生徒に活躍の場が 用意されています。

全校会				総務会				
庶務会		各種委員会						
研修部	図書部	新聞部	文化部	生活部	体育部	経済部	園芸部	放送部

Student interview 生活部全体部長 3年(2019年度) K.K.さん

意見を重ね、皆で納得することの大切さ

本校では全校生徒が自治活動の一環として必ず九つの部のいずれかに所属します。生活部は校内風紀や清掃を担当し、日々の生活をより快適にするために活動してきました。すぐに解決できる問題ばかりではなく未解決のものもありますが、校則が少ない本校だからこそ、責任を持ち、継続可能な方法を話し合っ決めていく必要性を感じています。すぐに行動に移すのではなく、意見を重ね、皆で納得し合意することの大切さを実感しました。



好きだから、夢中になれる。頑張るほど、面白くなる。

本校には38のクラブがあり、バラエティに富んでいます。

ほとんどの生徒がクラブに所属し、自治の精神を活かして活動に励んでいます。

多くのクラブが長期休暇に合宿を行い、技術を高めるとともに確かな人間関係を築いています。

活動日数・時間はクラブによって大きく違います。朝の練習があるクラブは7時15分以降に登校し、放課後は17時40分には下校します。休日活動するクラブは、7時45分以降に登校、15時には下校します。



文化系

- 囲碁 ●イラスト ●演劇 ●かるた ●クッキング ●軽音楽
- 弦楽 ●コーラス ●写真 ●書道 ●吹奏楽 ●生物 ●天文
- 人形劇団ベロッコ ●美術 ●V-RAM ●Play-Lot ●文芸
- 放送研究 ●ミュージカル ●レビュー ●ロボット研究

運動系

- 剣道 ●硬式テニス ●水泳 ●スキー ●ソフトテニス
- ソフトボール ●卓球 ●ダンス体操 ●チアリーディング
- 馬術 ●バスケットボール ●バドミントン ●バレーボール
- フィギュアスケート ●陸上競技 ●ワンダーフォーゲル

Student interview

クラブ連盟委員長 3年 I.K.さん

“青春”の思い出となるクラブ活動を

クラブは好きな事を見つけられる、そして好きな事に熱中出来る場所です。そこは個性がキラキラと輝く場でもあります。自治を大切にしている本校では、クラブの運営も生徒が主体となり行っています。クラブ連盟委員会は、各クラブ長が所属し、互いのクラブを尊重して練習等を円滑に行えるように協力しています。クラブでは、楽しさや悔しさ、様々な気持ちを共有するからこそ大切な仲間と出会う事が出来ます。その仲間と共に過ごすクラブ活動の時間はかけがえのない宝物で、まさに“青春”の思い出として一生心に残るものだと私は思います。



思い出はすべて、自分たちの手で作る。 様々な経験と感動が、自分を育てる糧になる。

一年を通して数多く行われる行事に生徒全員が積極的に取り組んでいます。
様々な立場から行事の運営に関わることで、
相手の気持ちを理解し仲間の力を活かすリーダーシップや協調性が育ちます。

1・2年生遠足



1・2年生の遠足は、生徒同士の親睦を深めるよい機会です。グループ単位でさくらんぼ狩りやバーベキューを楽しみます。遠足委員が考えたレクリエーションでバスの移動中も楽しく有意義な時間を過ごします。

芸術鑑賞会



毎年、本物の芸術に触れる時間を設けています。クラシックからジャズまで幅広く著名なアーティストをお招きしての音楽鑑賞や、歌舞伎など日本の古典芸能の鑑賞。生徒たちが豊かな芸術性を学べる貴重な機会となっています。

高校生活研究セミナー



春・秋の年2回、自治会総務の企画により、八王子にある大学セミナーハウスにおいて1泊2日で自由参加の討議セミナーを行っています。グループ討議、全体討議を行い、各個人の意見を分かちあいます。

前 期					
4 April	5 May	6 June	7 July	8 August	9 September
●始業式 ●入学式 ●新入生オリエンテーション ●全校会・歓迎会 ●創立記念日(20日) ●健康診断	●地域研究フィールドワーク 3年生 ●遠足 1・2年生 ●授業参観 ●運動会	●日本女子大学各学科個別相談会 3年生 ●前期中間試験 ●成瀬先生生誕記念日(23日) ●高校生活研究セミナー	●芸術鑑賞会 ●日本女子大学各学科説明会 2年生 ●終業挨拶 ●夏季合宿	●海外語学研修(ニュージーランド)	●始業挨拶 ●軽井沢セミナー 2年生 ●日本女子大学教員による特別講義 2年生



運動会



もみじ祭

Student interview 運動会実行委員長 3年 T.N.さん

全校生徒が活躍し、
楽しめる運動会を目指して



5月に行われる運動会は3学年縦割りの8クラス対抗で行われ、学年の壁を越えて一丸となり優勝を目指します。本校の運動会最大の魅力は、生徒自らの手で作り上げる運動会であるということです。全校生徒が係につき運動会を支え、実行委員会は一から種目やルールを考えます。クラスカラーを主とした色鮮やかな応援発表は応援団の生徒が中心となって作り上げ、観ている方々にも楽しんで頂けるものだと思います。実行委員会は、運動の得意・不得意に関わらず全校生徒が様々な場面で活躍でき、楽しめる運動会を目指し準備を進めています。

Student interview もみじ祭実行委員長 3年 O.M.さん

一人ひとりが輝きを放つ
もみじ祭を体感してください！



もみじ祭の最大の特徴は、研究グループ単位で発表が行われることです。研究グループはクラブ活動とは異なる団体です。幅広い分野の研究グループがあり、生徒は、それぞれの興味に応じた研究グループに所属し、もみじ祭で日頃の研究成果を発表する為に、努力と工夫を重ね準備しています。どの発表も、皆の熱意が感じられる完成度の高いものです。また、生徒全員が何らかの係に所属し、もみじ祭の運営に関わる為、生徒自らの手で作り上げる、もみじ祭となっています。一人ひとりが輝きを放ち、活気溢れるもみじ祭を是非体感してください！



軽井沢セミナー

2年生の秋には2泊3日で日本女子大学軽井沢三泉寮に出かけ、少人数のグループ討議やクラス討議、全体討議を行います。グループ討議は10以上のテーマに分かれており、事前に参考資料を集め、二度の予備討議を行います。軽井沢では4時間以上の白熱した討議となり、様々な意見に触れることで必ず新たな発見があります。



地域研究

地域研究とは、地域における生活・歴史・文化・平和・環境などに関わるテーマを各自が定め、十分な予備調査を行った上で現地に出かけ、その内容を確認したり、新たな考察を行ったりする研究活動です。日本各地に4つのコースを設定しており、3年生になると4泊5日でフィールドワークに出かけます。現地調査の後には立派なレポートが出来上がります。

後期

10 October

- 前期期末試験
 - 全校会
 - 前期終業式
-
- 後期始業式
 - もみじ祭

11 November

- 高校生活研究セミナー

12 December

- 進学試験・後期中間試験
- 図書部講演会
- 終業挨拶
- 冬季合宿

1 January

- 始業挨拶
- 推薦入学試験
- 成瀬先生告別講演
記念日(29日)
- 卒業生による
学科説明会 **2年生**

2 February

- スポーツデー
- 一般入学試験
- 学年末試験

3 March

- 成瀬先生ご命日(4日)
- 音楽会
- 全校会・送別会
- 卒業式
- 終業式
- 春季合宿



音楽会

Student interview 音楽会実行委員長 3年 M.A.さん

歌が生み出す深い絆が
大きな思い出になります



3月に行われる音楽会は、一年間の学校生活における最後の行事です。第一部は3学年全24クラス対抗の合唱コンクールが行われます。どのクラスも休み時間や放課後などに音楽会委員会を中心にコツコツと練習を重ね、より良い合唱を作り上げます。第二部はオーディション合格者による演奏が行われます。ここでは毎年バイオリンや歌、ピアノなど様々なジャンルの演奏が披露されます。皆で同じ目標に向かい力を合わせて練習することで、より深い絆が生まれ、大きな思い出になります。

夏季合宿



4泊5日で行われる「合同合宿」には、例年多くのクラブが参加します。500人近い生徒が合同で宿泊し、主に学校の施設を利用して活動する、大規模な合宿です。ワンダーフォーゲル、生物、写真などのクラブは、それぞれの目的に応じて各地へ出かけます。

図書部講演会



図書部の生徒が手紙を書いて講演依頼を行います。講演会後に講師を囲んでの茶話会は、作家の方と直接話せるチャンスです。これまでにあさのあつこ氏や朝井リョウ氏、京極夏彦氏などにご登壇いただきました。

卒業生による学科説明会



本校を卒業した日本女子大学の学生、大学院生を迎え、進路に関する相談会が開かれます。数年前には同じような境遇の高校生だった卒業生の助言は具体的に参考になります。親身な対応は附属校ならではのものです。

四季の移り変わりが美しい、 広大な森に囲まれた静かな環境です。

本校は、29万m²を超える広大な敷地からなる日本女子大学西生田キャンパスの一角にあります。
新宿から30分という距離にありながら、校舎もグラウンドも広い森に囲まれているため静かで清々しく、
勉強やクラブ活動など学校生活を送るには最高の環境です。
校内の各施設もゆとりがあり、活発な生徒たちの活動を支えています。



西生田キャンパス



正門



正面玄関



テニスコート

森の中に、オムニコート4面、クレイコート2面があります。
体育の授業やクラブ活動で、生徒たちはのびのびと
テニスを学んでいます。



西生田成瀬講堂

最新の音響・照明設備を備えた1,800名収容の大ホールと400名収容の2つの小ホールからなる西生田成瀬講堂。
入学式、卒業式などの式典だけでなく、全校会、もみじ祭の舞台発表、クラブの定期演奏会などの会場としても使わ
れます。



体育館

バスケットボールができる大きさの体育館が2つと、さらに
その約3倍の大きさの体育館が1つ。天井も高く、思い切り
運動したい生徒の元気に応えます。



もみじモール

3年生の教室前に幅10m、長さ160mにわたって作ら
れているゆとりのスペース。ピアノが何台も設置されて
おり、自由に使うことができます。



食堂

一度に400人以上が利用できる中高生専用の食堂です。
メニューの多くは日替わりで、定食や丼、麺類からパンや
デザートまで充実の品揃えです。

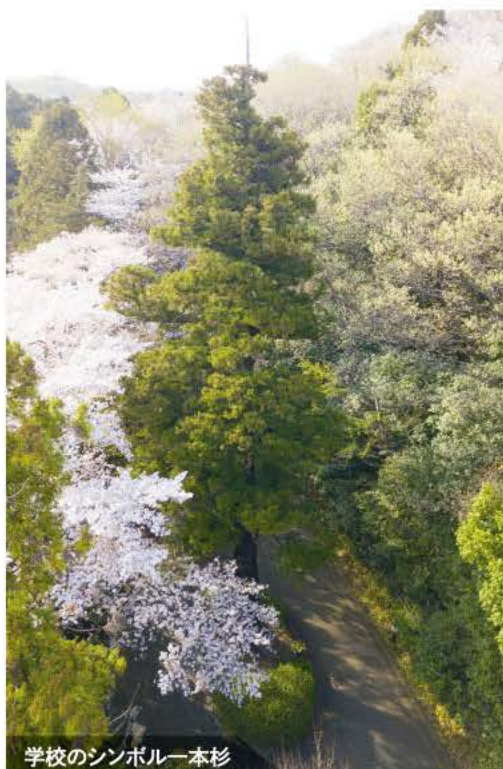
軽井沢三泉寮

軽井沢三泉寮は1906年に日本女子大学の夏季学寮として設置されました。それ以来、多くの学生・生徒にとって自らを問い、生命を問い、将来を考える場として、また、相互の交流を深め、切磋琢磨し、その後の活動の活力を生み出す場として利用され続けています。高校では2年次に2泊3日で訪れます。



日本女子大学 目白キャンパス

東京都文京区目白台にある目白キャンパスには、日本女子大学の家政学部、文学部、理学部および附属の豊明小学校と豊明幼稚園があります。成瀬記念講堂などの歴史ある建物に加え、2021年春のキャンパス統合をめざして、図書館や教育・研究棟などの新築計画が進んでいます。



学校のシンボル本杉



教室

必要に応じ視覚的な授業が行えるよう、全てのホームルーム教室には大型プロジェクターが完備されています。



器楽室

ステージを伴った教室にはピアノ完備のアンサンブル室が3室ある他、器楽室を含め4部屋の音楽室があり、各々にグランドピアノがあります。



もみじ劇場

校舎に囲まれ、陶器の椅子が並ぶ野外劇場。普段、晴れた日にはとても気持ちの良い憩いの場所に、もみじ祭ではその名の通り演奏や発表の舞台となります。



図書室

蔵書数は52,000冊で、毎月の新刊展示や生徒による本紹介など、来るたびに知的好奇心を刺激する図書室です。朝から放課後までいつでも読書や自習に使えます。



グラウンド

200mトラックの内側は芝生のフィールド。緑の木々に囲まれたグラウンドはとても清々しく、四季を感じながら爽やかな汗を流すことができます。



室内プール

体育の授業やクラブ活動で使われる25m×6レーンの温水プール。窓が広く、緑の木々がよく見えるので、屋外で泳いでいるような気分です。



科学館

物理・化学・生物の実験室は高校生が使うものだけで6つもあります。実験実習を多く取り入れた授業は、本校に理科好きの生徒が多い理由の一つです。



コンピュータ教室

情報科の授業だけでなく様々な教科科目で利用されているコンピュータ教室。お昼休みや放課後には開放し、生徒が自由に使うことができます。



相談室

相談室では常駐の専任カウンセラーが生徒や保護者の相談に対応し、保健室と連携しながら生徒の心身両面をケアしています。



保健室

伝統と革新が支える、一貫教育。 これからも自立した女性を育てます。

“Bloom as a leader.”は、学園に集う
学生一人ひとりの高い志と、活躍する
卒業生たちの軌跡を表しています。

日本女子大学へ

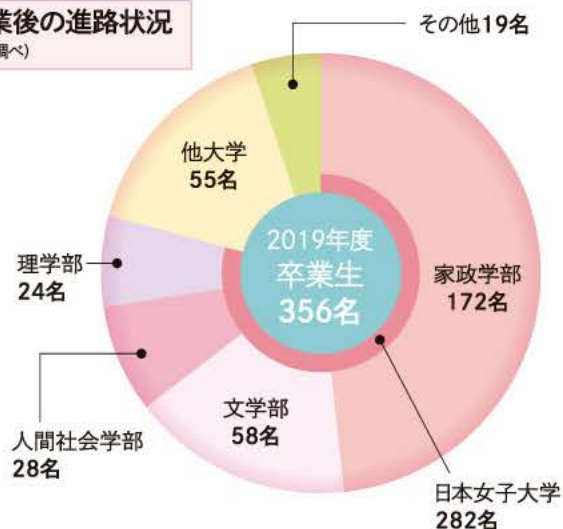
■ 進路指導

日本女子大学への進学を希望する生徒は原則として推薦されます。授業見学や説明会など大学での勉強や生活を知る機会も豊富に用意されています。また、日本女子大学以外の大学を希望する生徒に対しても支援を惜しみません。教員は、担当クラスの生徒と何度も個別面談を行い、最適な進路選択を全力でバックアップします。

■ 内部推薦

日本女子大学は4学部15学科を擁する総合大学であり、約75%の生徒が自分の希望に合う学科を選び、進学しています。希望が特に集中してしまう場合を除けば、自分の希望する学科に進学することができます。

高校卒業後の進路状況
(2020年4月調べ)



- 2年次**
- 7月 全15学科の大学教員による学部学科説明会
 - 9月 大学教員による特別講義
 - 12月 各学科授業見学および研究室訪問
 - 1月 卒業生による学科説明会

- 3年次**
- 6月 各学科授業見学および大学教員による個別相談会
 - 7月 生徒および保護者面談による進路指導
 - 11月 推薦入試のための作文・面接指導
 - 1月 日本女子大学推薦入試(附属高校生対象)

進路希望調査 2年次の後期以降4回実施

「併願制度」

日本女子大学にない8学部(医・歯・薬・看護・獣医・法・芸術・体育)のいずれか一つの学部の受験については、日本女子大学との併願が可能です。これに加えて、日本女子大学の志望学科が人間社会学部または理学部の場合、国公立大学及び各省庁大学校の受験については、受験学部を問わず併願が可能となります。

家政学部 (目白キャンパス)

児童学科

子どもは健やかな暮らしを保障され、多様な環境や人とのつながりの中で成長していきます。児童学科では、子どもの視点に立ちながら、子どもとその生活の場を総合的に研究。子どもに関わるさまざまな課題を解決する方法を追究し、自らの人間力を高めていきます。

食物学科 食物学専攻

講義・実験・実習を通して、「食」全般に関わる知識や技術を習得します。現代人の食生活や社会問題をふまえながら、食生活・栄養・ライフスタイルのあり方を考え、「食」を科学してコーディネートできるスペシャリストを育成しています。

食物学科 管理栄養士専攻

現代人の健康を栄養面からサポートする専門家を養成。卒業と同時に栄養士免許が得られ、管理栄養士国家試験の受験資格が取得できます。栄養管理・教育を行う医療職の一員として、現場で求められる思考力と実践力を養います。

住居学科 居住環境デザイン専攻

居住環境をより良いものにするために、生活者の視点から住生活に関わる諸問題を分析。住居や生活環境を歴史・文化、地域社会、地球環境まで幅広く学び、住まいづくり、まちづくり、住宅政策に専門的に携わる人材を育成します。

住居学科 建築デザイン専攻

私たちのあらゆる生活空間について、快適な住空間を計画し、デザインできる能力を養います。学術的・技術的・芸術的側面から、住居、公共建築、都市に至る生活空間を学修し、幅広い科学的な知識を備え、鋭い感性と深い思考力、豊かな表現力を培います。

被服学科

生活環境が著しく変化する現代において、時代に即した被服のあり方とは何かを科学的・文化的視点から総合的に追究します。より良い人間生活の向上に役立つ被服を創造することで、繊維・ファッション業界などの多彩な分野で活躍し、社会に貢献できる人材を育成します。

家政経済学科

日々の生活を取り巻く課題を、経済学を中心に家政学や経営学等の方法を使って、「生活」の視点から理解し行動できる能力を培います。経済学等の知識を身につけた卒業生は、銀行・証券等の金融業、製造業、サービス業、学校教員・公務員や出版・マスコミ等の幅広い業界に就職し、活躍しています。

目白キャンパス



百年館



新図書館外観

文学部 (目白キャンパス)

日本文学科

日本語および日本文学を探究し、その本質を把握することを目的としています。人間の思考の根幹を形成する「言葉」を技術として磨き、国際社会で日本文化の伝統を伝える担い手となる人材、高度な専門的研究の基礎を身に付け、学問発展に寄与できる人材を養成しています。

英文学科

英米を中心とした英語圏の文学・言語・文化・社会について学び、知識を深めるとともに、それらを健全な批評精神で考察し、自己や世界の諸問題を複眼的・相対的にとらえることを目指します。英語による正確で円滑なコミュニケーション力により、国際的に活躍できる人材を育成します。

史学科

歴史学の学びを通し、歴史的な思考力を鍛えることで、人類の歩みを把握することが目的です。さまざまな地域や時代を探究することで視野を広げて、多様な人間存在への考察を深め、歴史的視点から現代を再認識し、未来に貢献できる人材を養成します。

理学部 (目白キャンパス)

数物数学科

自由な発想の現代数学とその応用、コンピュータ科学や情報ネットワーク、光通信技術、物性物理学とその応用や天文学などの学びを通して、柔軟かつ論理的な思考力を養います。「科学者の目」を育むことで、自ら課題を見出して解決できる理系女性を育成します。

物質生物数学科

化学と生物学の2分野を学びの対象にしています。有史以前から人類の知的活動の積み重ねで成立した自然科学に対する理解を深め、時代の要請に応える問題解決能力を持った人材を養成します。

人間社会学部 (西生田キャンパス) ※

現代社会学科

激動する現代社会が抱える諸問題を意識する感性を大切にしながら、現場を調査する能力、情報を処理する力、社会現象を分析する力、そして問題を解決する能力を養います。身のまわりから国際社会に至る、さまざまな視点から社会を見つめていきます。

社会福祉学科

アジアの社会福祉教育のパイオニアとしての伝統を継承し、豊かで厚みのある教育を提供しています。幅広い専門科目を設置し、社会のさまざまな領域で応用できる基礎能力を身に付け、柔軟な思考と問題解決能力を有する「共生社会」をつくる人材を育成しています。

教育学科

家庭、学校、社会における教育の営みについて理解を深めるとともに、人間形成について広い知識と深い洞察力を身に付けます。また、理論と洞察を実証的に確かめる方法と技術を習得し、教育問題と現代社会の課題へアプローチできる人材を目指します。

心理学科

複雑化する現代社会での「こころ」の問題を幅広く複合的に探究します。「こころ」の働きに関する基礎的、応用的研究に取り組み、実践力を身につけた人材を養成。公認心理師および臨床心理士を目指すための基礎教育としても、十分な教育内容を提供しています。

文化学科

国境を越える基礎体力となる語学を磨き、異文化理解を深めることで、他者への想像力を豊かにします。その異文化体験から、日本の文化を振り返り、日本への新たな視座も獲得しています。世界とつながる力を得て、グローバルに活躍する人材、文化から未来を創る人材を育てます。

※人間社会学部は2021年目白キャンパスに移転します。

日本女子大学で取得可能な資格

教員免許 [中学校一種・高等学校一種※1、幼稚園一種※2、小学校一種※3、栄養教諭一種※4、学校図書館司書教諭※1]、司書※5、博物館学芸員※5、保育士※2、栄養士※4、衣料管理士(一級)※6、認定心理士※7など。

日本女子大学で取得可能な受験資格

管理栄養士※4、一級建築士※8、社会福祉士※9、公認心理師※7など。

※1 心理学科・食学科管理栄養士専攻を除く全学科、※2 児童学科、※3 教育学科、※4 食学科管理栄養士専攻、※5 全学科、※6 被服学科、※7 心理学科、※8 住居学科、※9 社会福祉学科

詳細は日本女子大学の
大学案内または
Webサイトをご覧ください。



大学院

家政学研究科 人間生活学研究科 文学研究科 人間社会研究科 理学研究科

就職状況と主な就職先

日本女子大学の2019年度の就職率は約98.2% (2020年4月9日現在判明分)、就職に強い大学として高い評価を得ています。また、内定先に対する満足度でも圧倒的多数の学生が「満足」という感想を抱いています。

主な就職先 (2020年4月9日現在判明分)

りそな銀行(15)、全日本空輸(13)、あいおいニッセイ同和損害保険(13)、日本生命保険相互会社(12)、日本航空(8)、三菱UFJ銀行(8)、第一生命保険(8)、東日本旅客鉄道(7)、明治安田生命保険相互会社(7)、JALスカイ(6)、三井住友信託銀行(6)、東京海上日動火災保険(6)、旭化成ホームズ(5)、凸版印刷(5)、村田製作所(5)、日本電気(5)、野村證券(5)、三井住友海上火災保険(5)、三井不動産リアルティ(5)、ANAエアポートサービス(4)、千葉銀行(4)、大同生命保険(4)、積水ハウス(3)、大和ハウス工業(3)、富士通(3)、東日本電信電話(3)、日本通運(3)、伊藤忠ロジスティクス(3)、三菱UFJニコス(3)、損害保険ジャパン日本興亜(3)、国立研究開発法人 国立国際医療研究センター(3)、清水建設(2)、住友林業(2)、ブリマム(2)、ロッテ(2)、ヤクルト本社(2)、大日本印刷(2)、三菱マテリアル(2)、キヤノン(2)、ニコン(2)、キーエンス(2)、東京電力ホールディングス(2)、東京ガス(2)、NTTドコモ(2)、KDDI(2)、NTTデータ(2)、日本総合研究所(2)、東京地下鉄(2)、滋潤倉庫(2)、兼松(2)、小田急百貨店(2)、資生堂ジャパン(2)、日本銀行(2)、日本マスタートラスト信託銀行(2)、みずほ銀行(2)、横浜銀行(2)、みずほ証券(2)、三井住友トラスト・ビジネスサービス(2)、三井不動産(2)、オリックス(2)、西村あさひ法律事務所(2)、オリエンタルランド(2)、SOMPOケア(2)、鹿島建設(1)、味の素AGF(1)、カルビー(1)、日本食研ホールディングス(1)、明治(1)、森永製菓(1)、カゴメ(1)、キリン

ビバレッジ(1)、サントリーホールディングス(1)、サッポロビール(1)、キッセイ薬品工業(1)、住友化学(1)、プリチストン(1)、荏原製作所(1)、ディスコ(1)、ダイキン工業(1)、東芝(1)、コクヨ(1)、ヨネックス(1)、日本放送協会(1)、SCSK(1)、日本アイ・ピー・エム(1)、日本ユニシス(1)、東海旅客鉄道(1)、伊藤忠商事(1)、住友商事(1)、双日(1)、マクニカ(1)、三越伊勢丹ホールディングス(1)、国際協力銀行(1)、三菱UFJ信託銀行(1)、巢鴨信用金庫(1)、SMBC日興証券(1)、独立行政法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA)(1)、理化学研究所(1)、アンダーソン・毛利・友常法律事務所(1)、ウェザーニューズ(1)、日経メディアマーケティング(1)、PwCコンサルティング合同会社(1)、サイバーエージェント(1)、電通(1)、博報堂(1)、大和総研(1)、ホテルグランドパレス(1)、JTB(1)、(学)日本女子大学(1)、日本女子大学附属高等学校(1)、日本女子大学附属豊明小学校(1)、学習院幼稚園(1)、國學院大学附属幼稚園(1)、公文教育研究会(1)、(学)北里研究所北里大学病院(1)、(公社)経済同友会(1)、ベネッセスタイルケア(1)、(一財)関東電気保安協会(1)、独立行政法人都市再生機構(1)、(財)東京都予防医学協会(1)、(一財)日本食品分析センター(1)、地方公務員(16)、国家公務員(9)、公立幼稚園教員(1)、公立小学校教員(44)、公立中学校教員(7)、公立高等学校教員(2)

※教員は非常勤・期限付き任用教員を含む

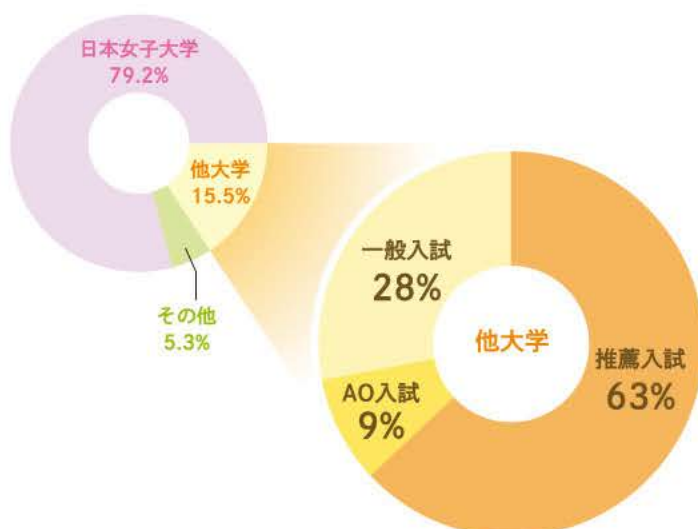
内定先への満足度 (有効回答率97.9%)



一人ひとりが自分を伸ばす道を歩んでいます。

他大学へ

医学や芸術など、自分の目標のために日本女子大学以外の大学を希望する生徒は25%前後です。このうち半数以上は推薦入試(指定校推薦と公募制推薦)で合格しています。本校のカリキュラムで学び「自念自動」の精神が身についた生徒たちを、多くの大学が評価してくださっています。



2019年度指定校推薦一覧(一部抜粋)

優秀な卒業生の活躍により、多くの大学から指定校推薦枠をいただいています。そのうちの一部をご紹介します。

- [慶應義塾大学] 理工学部 3
- [早稲田大学] 基幹理工学部 1
- [上智大学] 法学部 3/外国語学部 2
- [東京理科大学] 理学部第一部 1/薬学部 1/基礎工学部 1
- [学習院大学] 法学部 1/経済学部 2/理学部 4
- [青山学院大学] 経済学部 1/法学部 1/経営学部 1/
理工学部 1/社会情報学部 1
- [立教大学] 観光学部 1/現代心理学部 2
- [中央大学] 法学部 5/理工学部 4/総合政策学部 1/国際経営学部 1
- [法政大学] 文学部 1/グローバル教養学部 1
- [北里大学] 医学部 3/獣医学部 1
- [東京女子医科大学] 医学部 1
- [聖マリアンナ医科大学] 医学部 2
- [明治薬科大学] 薬学部 2
- [昭和薬科大学] 薬学部 2
- [東京薬科大学] 薬学部 女子部 2/生命科学部 1

過去3年間の既卒者を含む合格実績

(〔 〕は推薦合格者数)〈一部抜粋〉

国公立大学	2017年度	2018年度	2019年度
東京大学	3	2	
東北大学		1	1
九州大学	1		
筑波大学		1〔1〕	1
東京医科歯科大学		1	
横浜国立大学		1	
東京外国語大学			1
東京学芸大学	1		
弘前大学			1
東京都立大学	1		
東京藝術大学	1	1	
防衛医科大学校			1

私立大学 医薬歯看護獣医系	2017年度	2018年度	2019年度
麻布大学	1〔1〕	1	
岩手医科大学		1	
北里大学	3〔3〕	5〔2〕	2
杏林大学		2	2
慶應義塾大学	1		2
埼玉医科大学	1		1
順天堂大学		3	2
昭和薬科大学	2〔1〕	2〔1〕	
聖マリアンナ医科大学	1〔1〕	2〔2〕	1〔1〕
帝京大学	2	3	2
東京医科大学		3〔1〕	
東京医療保健大学	2	1	
東京歯科大学	2		
東京慈恵会医科大学	1	1	1
東京女子医科大学	4〔2〕	2〔2〕	4〔2〕
東京薬科大学	3〔2〕		
東邦大学			2
日本大学	3	7	1
日本歯科大学	1	2	1
日本赤十字看護大学		1	1
明治薬科大学	1〔1〕	1〔1〕	

私立大学 他学部	2017年度	2018年度	2019年度
慶應義塾大学	18〔3〕	18〔3〕	9〔3〕
早稲田大学	13〔1〕	9〔1〕	5〔1〕
上智大学	13〔6〕	12〔10〕	11〔5〕
東京理科大学	2〔1〕	2〔1〕	1〔1〕
学習院大学	1〔1〕	1〔1〕	5〔3〕
明治大学	8	8	3
青山学院大学	6〔3〕	12〔3〕	8〔4〕
立教大学	10〔3〕	6〔2〕	8〔3〕
中央大学	16〔7〕	12〔6〕	11〔7〕
法政大学	1	7〔2〕	4〔1〕
多摩美術大学	2	6	
東京音楽大学	1	1	
武蔵野美術大学	3	2	1

入学試験について知りたいのですが…

2020年度の入学試験は、推薦入試、一般入試、海外帰国生入試を行いました。2021年度入試については、今後、校内で行われる説明会や公開行事等でお渡しする入試資料、学校生活Q&Aをご覧ください。

附属中学からの人たちと仲良くなれますか？

入学してすぐに遠足や運動会などクラス単位の行事があり、自然と打ち解けていきます。クラブ活動や自治会、行事などは高校だけで行っており、生徒は出身中学に関わりなく活躍しています。勉強についても、附属中学では先取り学習はしていませんし、中学と高校の教員は分かれていて、附属中学からの入学者にとっても新しい環境でのスタートとなるので、高校からの入学でも心配はいりません。

日本女子大学は希望した学科に進めるのですか？

高校1学年の人数よりはるかに多い定員数が用意されています。希望者が学科の定員を上回った場合は第二希望の学科になることもありますが、ほとんどの生徒は第一希望の学科に進学できます。

在学中に長期の海外留学をして復学することはできますか？

学校が指定する公的留学機関に校長推薦を得て応募し、海外に1年間留学する単位認定の場合（進学など制約あり）と、学校の指定外の機関を利用して1年間休学して留学する場合があります。詳細はお問い合わせください。

制服はないと聞きましたが、どのような服装で通学したら良いですか？

本校ではあえて制服を定めていません。生徒たちが決めた通学服の規定に基づいて、自由に服装を選び、個性を表現しています。毎日どんな服装で通学するか、自ら考え行動しています。尚、入学式や卒業式、始業式などの式典の際は「式服」（紺・黒のブレザーとスカート）を着用します。

生徒はどんな地域から通学していますか？

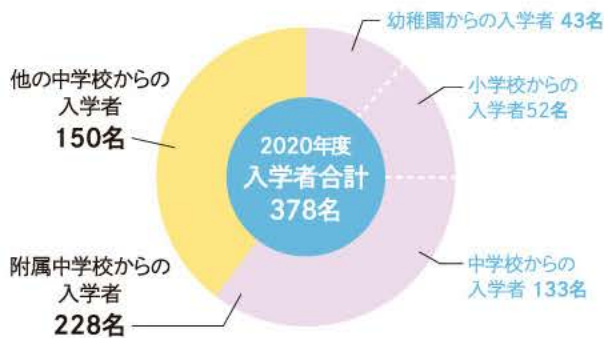
本校の通学区域は、東京都内や近郊の各県にかなり広範にひろがっています。遠くから通ってくる生徒も多く、通学時間の平均は61分ほどです。

始業時刻は何時ですか？

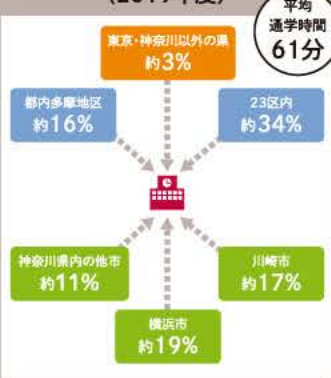
一年を通じて8時45分までに登校し、授業は8時50分に始まって、終礼が15時45分に終わります（後期は15時15分終了）。放課後の活動は、17時40分（後期は17時20分）までです。

入学状況 新しい仲間とすぐに打ち解けます。

例年入学者のうち、約40%が高校から入学する生徒です。1学年8クラスで、どのクラスも附属中学出身者と混合になります。

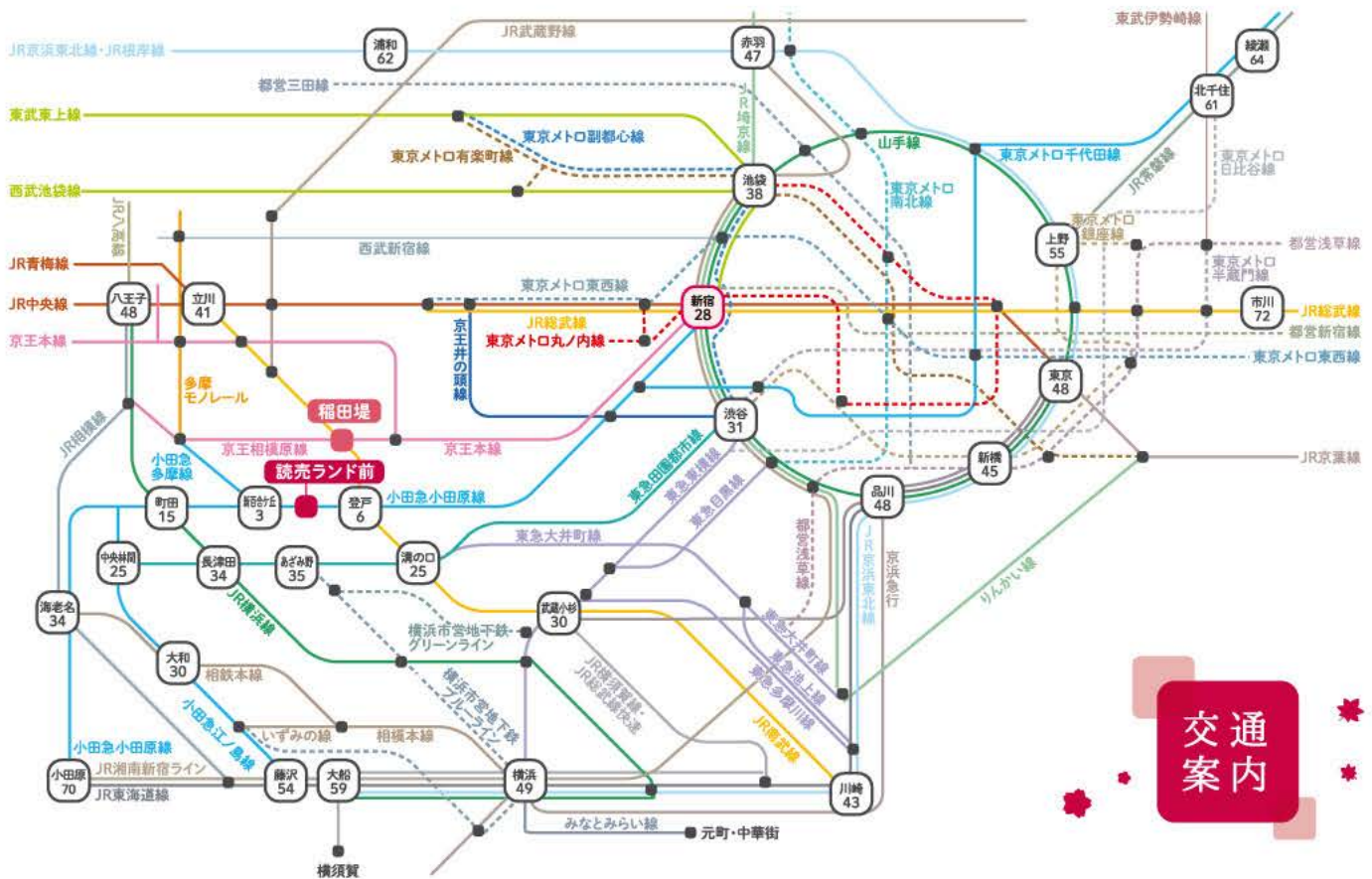


附属高等学校生徒の通学圏 (2019年度)



1日のタイムスケジュール(前期)

50分授業6時間	
予鈴	8:45
授業開始	8:50
昼休み	12:40~13:30
授業終了	15:20
終礼終了	15:45
最終下校	17:40
後期は45分授業 終礼終了15:15 最終下校17:20	



各駅名下の数字は小田急線 読売ランド前駅までのおおよその所要時間です。

東京	約48分	JR中央線	新宿	約28分	小田急線
品川	約50分	JR山手線	下北沢	約19分	小田急線
池袋	約43分	JR山手線	町田	約15分	小田急線
渋谷	約35分	京王井の頭線			
八王子	約55分	JR横浜線			
小田原	約70分	小田急線			

- 小田急線 読売ランド前駅より徒歩約10分
- 京王線 京王稲田堤駅前 城下バス停よりバス約10分(生田折返場行 女子大前下車)
(JR南武線稲田堤駅からのバスは少ないので、京王稲田堤駅前の城下バス停までお歩きください。徒歩約7分です。)
- 京王線 京王よみうりランド駅よりバス約15分(寺尾台団地行 女子大前下車)



2020年度 学校説明会・公開行事(予定) 今後、変更する場合もありますので、詳細はホームページでご確認ください。

授業公開	7月4日(土)	目白説明会	9月12日(土)	もみじ祭(文化祭)	10月31日(土)・11月1日(日)
夏季休暇期間学校見学会	7月・8月	学校紹介・見学会	9月19日(土)	学校説明会	11月14日(土)

ご参加の方法についてはホームページの案内をご覧ください。



日本女子大学附属高等学校
<入試事務室> Tel.044-952-6705

神奈川県川崎市多摩区西生田1丁目1番1号 〒214-8565
Tel.044-952-6711 Fax.044-954-5450
<http://www.jwu.ac.jp/hsc/> Eメール n-fuzokuh@atlas.jwu.ac.jp



学校法人
日本女子大学



WEBはこちら